

履歴書

平成21年10月27日現在

氏名 脇田成 (わきた しげる)

生年月日 1961年10月11日生

勤務先 首都大学東京都市教養学部、(東京都立大学経済学部も兼任)

住所 〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1

電話・電子メール 0426-77-2307 (Fax 0426-77-2304) wakita@tmu.ac.jp

学歴 昭和55年3月 京都府立向陽高等学校卒業
昭和56年4月 東京大学教養学部文科II類入学
昭和60年3月 東京大学経済学部経済学科卒業
昭和61年3月 東京大学経済学部経営学科卒業
昭和61年4月 東京大学大学院経済学研究科入学
平成 4年3月 東京大学大学院経済学研究科中退
平成14年6月26日 博士号取得(経済学、東京大学)

職歴 平成 4年4月-7年3月 東京大学社会科学研究所助手
平成 7年4月-13年3月 東京都立大学経済学部助教授
平成13年4月-17年3月 東京都立大学経済学部教授
平成17年4月- 首都大学東京都市教養学部教授

その他 平成5年4月-6年3月 一橋大学経済研究所非常勤講師
平成12年4月-14年9月 一橋大学経済学部非常勤講師
平成16年4月-19年3月 東京大学法学部非常勤講師
平成19年4月-22年3月 東京大学公共政策大学院非常勤講師
平成21年4月- 東京大学大学院経済学研究科附属
日本経済国際共同研究センター 客員教授
平成9年5月-13年4月 財団法人東京経済研究センター理事
平成19年-平成21年 国家公務員採用I種試験委員

特技 大蔵流狂言実演

現在に至る。以上。

主要研究業績一覧

脇田成

著書

- [1] 脇田成 (1998) 『マクロ経済学のバースペクティブ』 日本経済新聞社.
- [2] 脇田成 (2000) 『マクロ経済学のナビゲーター』 日本評論社.
- [3] 脇田成 (2003) 『日本の労働経済システム: 成功から閉塞へ』 東洋経済新報社.
- [4] 脇田成 (2004) 『マクロ経済学のナビゲーター 第2版』 日本評論社.
- [5] 脇田成 (2006) 『エコナビ 経済学入門』 日本評論社.
- [6] 脇田成 (2008) 『日本経済のバースペクティブ 構造と変動のメカニズム』 有斐閣.
- [7] 脇田成 (2010) 『日本経済はどう動くのか』 ちくま新書 2010年1月刊行予定.
- [8] 脇田成 (2010) 『雇用不安と消費停滞の経済学(仮題)』 岩波書店近刊.

論文

- [9] Shigeru Wakita (1989) "Are Survey Forecasts Trusted?" *Economics Letters*, Vol. 29, 339-44.
- [10] 脇田成 (1991) 「為替市場の予想形成: G5以降円ドルレートの経験」『季刊理論経済学』 東洋経済新報社 Vol.42-3, 275-286, 1991年9月号.
- [11] Shigeru Wakita (1992) "Efficiency Wage Model of Adverse Selection Reconsidered," *Economics Letters*, Vol. 40-2, 235-40.
- [12] 脇田成 (1994) 「マクロとミクロの日本的労働慣行」『社会科学研究』(東京大学社会科学研究所) Vol. 46-2, 220-306.
- [13] Shigeru Wakita (1995) "The Formation of Rational Expectations in the Rice Futures Market of Dojima, Osaka, in the Tokugawa Era," *Annals of the Institute of Social Science*, No. 36.
- [14] 脇田成 (1996) 「近世大坂堂島米先物市場における合理的期待の成立」『経済研究』(一橋大学経済研究所) 第47巻第3号.
- [15] 脇田成 (1996) 「実質賃金硬直性と労働市場の諸モデル」 大山道広・西村和雄・吉川洋編『現代経済学の潮流1996』(理論・計量経済学会年報) 東洋経済新報社.
- [16] Shigeru Wakita (1997) "Chronic Labor Hoarding: Direct Evidence from Japan," *Japanese Economic Review* Vol. 48, No. 3 p. 307-323.
- [17] 脇田成 (1997) 「「協調の失敗」と雇用慣行」『日本労働研究雑誌』1997年8月号 p.19-28.
- [18] Shigeru Wakita (1998) "A Model for Patterns of Industrial Relations," in Isao Ohashi and Toshiaki Tachibanaki (eds.) *Internal Labour Markets, Incentives and Employment*, Macmillan.
- [19] 脇田成 (1999) 「企業内工程間分業と熟練形成のモデル分析」 中村二郎・中村恵編『日本経済の構造調整と労働市場』 日本評論社.
- [20] 脇田成 (2001) 「動学モデルの発展と土地本位制下の金融政策」『フィナンシャル・レビュー』 財務省 2001年9月号.
- [21] Shigeru Wakita (2001) "Why has the Unemployment Rate Been so Low in Japan? An Explanation by Two-Part Wage Bargaining," *Japanese Economic Review* 52-1, 116-133.
- [22] Shigeru Wakita (2001) "Efficiency of the Dojima Rice Futures Market in Tokugawa Period Japan," *Journal of Banking and Finance* 25-3, 535-554.
- [23] 脇田成 (2003) 「景気循環 予測と理論の間」 浅子和美・福田慎一編『景気循環と景気予測』 東京大学出版会所収.
- [24] 脇田成 (2004) 「近世大坂堂島米市場の非定常時系列分析」『先物取引研究』 日本商品取引員協会 第9巻第1号 No.13, pp. 195-215.
- [25] 脇田成 (2005) 「労働市場の失われた10年: 労働分配率とオクン法則」『フィナンシャル・レビュー』 財務省 78号 p.51-70.

- [26] Shigeru Wakita (2005) "The Lost Decade in the Japanese Labor Market: Labor's Share and Okun's Law" *Public Policy Review* No.2 p.77-96.
- [27] 脇田成 (2007) 「在庫循環図の理論と計量分析」 浅子和美・宮川努編『日本経済の構造変化と景気循環』 東京大学出版会.
- [28] 脇田成 (2006) 「不良債権処理のマクロ的インパクト 失われた 10 年第三の仮説」 景気日付研究会沼津コンファレンス発表論文.
- [29] 脇田成 (2006) 「日本政府の構造改革」 KIEP コンファレンス発表論文.
- [30] 脇田成 (2006) 「Dual TFP と失われた 10 年」 景気循環日付検討研究会彦根コンファレンス発表論文.
- [31] Nobuko Serizawa and Shigeru Wakita, (2007) "Welfare Improving Trade Policy for Cultural Diversity," presented at the 3rd Annual Asia Pacific Trade Seminars (APTS 2007) at Shanghai University of Finance and Economics, Shanghai, China. (2007 年 7 月 7 日)
- [32] Hirokuni Iiboshi, Masanobu Umeda and Shigeru Wakita, (2008) "Monetary Policy in Japan Reconsidered: A Regime-switching VAR Analysis," presented at Business Cycle Dating Conference at Akita. (2008 年 9 月 3 日)

モノグラフ・書籍分担執筆

- [33] 脇田成 (1993) 『景気循環のモデル分析』 財団法人三菱経済研究所.
- [34] 脇田成 (1994) 『市場・企業・職場における日本の労働慣行』 財団法人三菱経済研究所.
- [35] 脇田成 (1995) 『エコノメトリックスの基礎』 財団法人三菱経済研究所.
- [36] 脇田成 (1997) 「成長と循環」(教科書分担執筆) 西村和雄編『早わかり経済学入門』 東洋経済新報社.
- [37] 脇田成 (1998) 『経済学の視点』 財団法人三菱経済研究所.
- [38] 脇田成 (2000) 「マクロ経済学のツボ 三人の皇子と巨視的経済学」(教科書分担執筆) 経済セミナー編集部編『ゼロからスタート! 経済学超入門』 日本評論社.
- [39] 脇田成 (2006) 「失われた 10 年と投資: コメント」 『日本の失われた 10 年を超えて』 日本経済新聞社.

寄稿・解説論文・その他

- [40] 脇田成 (1992) 「アメリカの混迷と"新"成長理論の台頭」 『ESP』 経済企画協会 1992 年 10 月号.
- [41] Shigeru Wakita (1995) Book Review : "The White Paper on the Economy," *Social Science Japan*, No.3 April.
- [42] 脇田成 (1995) 「近世大坂堂島米先物市場における合理的期待の成立」 『先物取引研究』 日本商品取引員協会 第 1 巻第 1 号 No.1, pp. 1-13.
- [43] 脇田成 (1996) 「マクロ経済学の現代的見方」 日本経済新聞 『やさしい経済学』 (1996.10.18-24).
- [44] 脇田成 (1998) 「行間を語る」 日経金融新聞 (1998.8.12)
- [45] 脇田成 (1998) 「情報「教育」よりも「基盤整備」を」 『大学広場』 1998 年 3 月.
- [46] 脇田成 (1999) 「金融破たんと情報の経済学」 日本経済新聞 『やさしい経済学』 (1999.11.4-11).
- [47] 脇田成 (1999) 「カツ丼の限界効用」 東洋経済新報社 『教科書の森』.
- [48] 脇田成 (2001) 「財政赤字は問題なのか そうでないのか」 『経済セミナー』 2001 年 6 月号 no. 557, p. 24-28.
- [49] 脇田成 (2001) 「雇用流動化と構造改革」 『日本国の研究』 2001 年 06 月 13 日発行 第 42 号 論説.
- [50] 脇田成 (2001) 「いま進みつつある構造改革になにが必要なのか」 『日本国の研究』 2001 年 8 月 22 日発行 第 69 号 論説.
- [51] 脇田成 (2002) 「幕の内弁当のミクロ経済学」 『経』 2002 年 2 月号 ダイアモンド社.
- [52] 脇田成 (2002) 「書評 齊藤誠著 『先を見よ、今を生きよ 市場と政策の経済学』」 『日本国の研究』 2002 年 7 月 29 日.
- [53] 脇田成 (2003) 「構造改革」 『経済セミナー』 2003 年 4 月号 no. 579, p. 10-11.
- [54] 脇田成 (2003) 「マクロ経済学の新展開と金融政策」 『金融』 2003 年 12 月号 全国銀行協会.

- [55] 脇田成 (2004) 「家計に資金回し消費喚起を」『朝日新聞』(インタビュー) 2004年11月13日朝刊.
- [56] 脇田成 (2005) 「キッドランド、プレスコット両教授のノーベル賞受賞に寄せて」『経済セミナー』2005年2月号 p.14-18.
- [57] 脇田成 (2005) 「マクロ経済危機のもとでの日本的労働慣行の再検討」『ESP』内閣府 2005年5月号 p.37-41.
- [58] 脇田成 (2005) 「労働分配率をどうとらえるか」『日本経済研究所月報』2005年6月号 p.36-42.
- [59] 脇田成 (2006) 「国民所得と失われた10年のメノコメトリックス」『経済セミナー』2006年4月号 p.29-33.
- [60] 脇田成 (2006) 「春闘のマクロ経済的役割」『連合総研レポートDIO』2006年6月号.
- [61] 脇田成 (2006) 「フェルプス教授のノーベル賞受賞によせて」『日本経済研究センター会報』2006年11月号.
- [62] 脇田成 (2007) 「書評 医療崩壊」『経済セミナー』2007年1月号.
- [63] 脇田成 (2008) 「賃金はなぜ上がらないのか」『ESP』経済企画協会 2008年3月号 p.28-32.
- [64] 脇田成 (2008) 「知識資本と日本経済の見えざる「反革命」:「日本経済のパスバクティブ」を執筆して」『書齋の窓』2008年10月号.
- [65] 脇田成 (2009) 「我先に出口に殺到するな」『連合総研レポートDIO』2009年2月号.
- [66] 脇田成 (2009) 「経済学キーワード」『週刊ダイヤモンド』2008年4月4日号.
- [67] 脇田成 (2009) 「ポイントチェック マクロ対策編 ケインズの財政政策・貨幣と為替レート ミクロ構造編 逆選択と金融危機 モラルハザード」『週刊ダイヤモンド』2008年4月4日号.
- [68] 脇田成 (2009) 「非正規雇用化のミクロ構造とマクロ的インパクト」『経済セミナー』2009年6月号.
- [69] 脇田成 (2009) 「トレンドとサイクルからみたマクロ経済「診断」と「治療」」『NIRA 政策レビュー』2009年40号.
- [70] 脇田成 (2009) 「マクロ経済の分配と景気変動」『日経研月報』2009年9月号.

雑誌連載

- [71] 脇田成 (2007) 「青い山脈と戦後改革」『経済セミナー』2007年5月号.
- [72] 脇田成 (2007) 「戦後民主主義に咲く無責任男」『経済セミナー』2007年9月号.
- [73] 脇田成 (2008) 「民謡と勤労と高度成長の時代」『経済セミナー』2008年1月号.
- [74] 脇田成 (2009) 「脱力系と上昇志向の「これが私の生きる道」: 輸出産業としての JPOP」『経済セミナー』2009年3月号.
- [75] 脇田成 (2008) 「義理と人情から KY まで 日本人の規範意識を探る」『経済セミナー』2008年6月号.
- [76] 脇田成 (2008) 「ジャニーズ集団主義と世界に一つだけの花: 日本的雇用慣行のもとで多能工化するアイドル」『経済セミナー』2008年10月号.
- [77] 脇田成 (2009) 「報酬と消費のヒューリスティックス: 日本人「論」の「行動」経済学 1」『書齋の窓』2008年1-2月号.
- [78] 脇田成 (2009) 「シチュエーションとキャラクター: 日本人「論」の「行動」経済学 2」『書齋の窓』2008年3月号.
- [79] 脇田成 (2009) 「経済学者と法学者はなぜ折り合えないのか: 日本人「論」の「行動」経済学 3」『書齋の窓』2008年4月号.
- [80] 脇田成 (2009) 「堂島米市場の崩壊と金融危機: 日本人「論」の「行動」経済学 4」『書齋の窓』2009年5月号.
- [81] 脇田成 (2009) 「ご近所からか、世界からか: 日本人「論」の「行動」経済学 5」『書齋の窓』2009年6月号.
- [82] 脇田成 (2009) 「情報爆発のもとでの暗黙知共有: 日本人「論」の「行動」経済学 6」『書齋の窓』2009年7月号.
- [83] 脇田成 (2009) 「タグほど高いものはない: 日本人「論」の「行動」経済学 7」『書齋の窓』2009年9月号.

- [84] 脇田成 (2009) 「ボトムアップか、トップダウンか: 日本人「論」の「行動」経済学 8」『書齋の窓』 2009年10月号
- [85] 脇田成 (2009) 「人格を高め、恒心を保つ: 日本人「論」の「行動」経済学 9」『書齋の窓』 2009年11月号
- [86] 脇田成 (2009) 「それを言っちゃあ、おしまいよ: 日本人「論」の「行動」経済学 10」『書齋の窓』 2009年12月号

報告書類

- [87] 脇田成 (1996) 「社会保障とマクロ経済」社会保障の経済分析研究会.
- [88] 脇田成 (1997) 「高齢化・少子化社会のマクロ経済的帰結」東京都立大学若手研究報告.
- [89] 脇田成 (1997) 「生活意識と習慣形成 --- 高齢者世帯の生活実態」『高齢社会における社会保障の経済分析研究報告書』 社会保障の経済分析研究会.
- [90] 脇田成 (1997) 「実質賃金硬直性と労働市場の諸モデル」『国際化の進展と労働市場』統計研究会.
- [91] 脇田成 (1998) 「生活意識と習慣形成」東京都立大学若手研究報告.
- [92] 脇田成 (1999) 「組合契約のもとでの社会保障・資本蓄積」『景気変動と労働市場の構造変化』統計研究会.
- [93] 脇田成 (2000) 「景気循環理論の新展開: RBC モデルの基本構造」『景気循環の日付研究会報告書』東京経済研究センター.

雑誌未発表 DP 類

- [94] Shigeru Wakita (1994) "Immiserizing Growth and Cycles under Finite-Horizon Human Capital Accumulation," Institute of Social Science, University of Tokyo, Discussion Paper, F-31.
- [95] 脇田成 (1999) 「仲間うち資本主義の「成功」と「限界」: アジア通貨危機の一モデル」東京都立大学 Research Paper No.18.
- [96] 脇田成 (2004) 「土地本位制化のバブル生成と金融政策」東京都立大学 21 世紀 COE プロジェクトディスカッションペーパー No. 7.
- [97] Shigeru Wakita (2004) "What is Firm-Specific Human Capital? A Model of Firm-Specific Combination in General Skills Generated by History Dependent Assignment Process," 東京都立大学 21 世紀 COE プロジェクトディスカッションペーパー No. 40.
- [98] Shigeru Wakita (2004) "Countercyclical Monetary Policy and Land Prices Under Collateral Contracts," 東京都立大学 21 世紀 COE プロジェクトディスカッションペーパー No. 47.
- [99] Shigeru Wakita (2004) "Successes" and "Limitations" of Crony Capitalism: A Model of the Asian Currency Crisis," 東京都立大学 21 世紀 COE プロジェクトディスカッションペーパー No. 48.
- [100] Hirokuni Uchiyama and Shigeru Wakita (2004) "Do Structural Breaks exist in Okun's Law? Evidence from the Lost Decade in Japan," 東京都立大学 21 世紀 COE プロジェクトディスカッションペーパー No. 49.